

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 トランスジェニック

コード番号 2342 URL <http://www.transgenic.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山村 研一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 福永 健司

TEL 078-306-0590

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	395	101.0	△306	—	△314	—	△282	—
21年3月期第3四半期	196	—	△530	—	△518	—	△527	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△2,589.01	—
21年3月期第3四半期	△4,836.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	2,100	1,826	86.3	16,629.81
21年3月期	2,234	2,114	93.8	19,211.75

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 1,813百万円 21年3月期 2,095百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	600	84.7	△373	—	△370	—	△375	—	△3,438.44

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 - ② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|----------|-------------|----------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第3四半期 | 109,075株 | 21年3月期 | 109,075株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第3四半期 | 14株 | 21年3月期 | 14株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第3四半期 | 109,061株 | 21年3月期第3四半期 | 109,061株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した当期の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に与える不確定要因に関しての仮定を前提としており、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件等につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高395,694千円（前年同期196,842千円）、営業損失306,676千円（前年同期530,560千円）、経常損失314,553千円（前年同期518,486千円）、四半期純損失282,360千円（前年同期527,465千円）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 遺伝子破壊マウス事業

積極的な販売促進活動の展開が反映されたことにより、遺伝子情報売上(TG Resource Bank®)および受託事業が好調に推移し、この結果、売上高は120,382千円（前年同期82,030千円）、営業利益は18,598千円（前年同期は営業損失58,793千円）となりました。

② 抗体事業

将来的な収益拡大に向けて自社開発抗体製品の研究に注力し、受託サービスを抑制しました。この結果、抗体製品販売は前年同期並に推移したものの、売上高は36,152千円（前年同期63,061千円）となりました。また、新抗体製品の開発にかかる費用を研究開発費として費用計上したことから、営業損失86,308千円（前年同期41,790千円）となりました。

③ 試薬販売事業

サイトカイン販売が好調に推移し、さらに前年契約したプロテインテック社(米国)との販売契約により、研究用試薬のラインナップを拡充し、受注に反映しました。この結果、売上高68,063千円（前年同期39,956千円）、営業利益4,884千円（前年同期は営業損失67,807千円）となりました。

④ 食品事業

新たに連結の範囲に㈱果実堂及び㈱果実堂ファームを加えたことに伴い、第2四半期連結会計期間より「食品事業」を追加しております。

ベビーリーフの第2四半期会計期間中の天候不良による生産量への影響は回復するも、当第3四半期に収穫期を迎えるその他の野菜の卸売販売が、糖度不足等の影響により伸び悩みました。この結果、売上高は138,340千円、営業損失は46,641千円となりました。

⑤ その他事業

積極的な販売促進活動によりサービスの認知度が向上し、創薬支援サービスの売上が好調に推移しました。この結果、売上高32,754千円（前年同期11,793千円）、営業利益12,153千円（前年同期は営業損失6,524千円）となりました。

研究開発におきましては、平成21年10月7日、財団法人ヒューマンサイエンス振興財団と「膵癌の新規腫瘍マーカー」のライセンス契約を締結いたしました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末（平成21年12月31日）は、流動資産1,251,846千円（前連結会計年度末比261,394千円減少）、固定資産848,944千円（同127,485千円増加）、流動負債156,182千円（同41,760千円増加）、固定負債117,643千円（同112,292千円増加）、純資産合計1,826,964千円（同287,961千円減少）となり、総資産は2,100,790千円（同133,908千円減少）となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前四半期純損失325,016千円（前年同期525,368千円）、減損損失20,880千円などにより、営業活動の結果使用した資金は308,263千円（前年同期495,098千円）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

関係会社株式の取得による支出153,000千円などにより、投資活動の結果使用した資金は138,342千円（前年同期は616,376千円の収入）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

長期借入金の返済による支出22,898千円などにより、財務活動の結果使用した資金は24,574千円となりました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ471,179千円減少し、1,048,306千円（前年同期1,617,605千円）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社は、第1四半期連結会計期間において株式会社果実堂及び同社グループ会社を連結または持分法の適用の範囲に含めております。これに伴い、平成21年5月15日の決算発表時に公表した平成22年3月期（平成21年4月1日から平成22年3月31日）の連結業績予想を平成21年6月26日付で修正・公表しておりました。その後、食品事業において、天候不良に伴う主力製品の生産量減少により売上高予想数値が計画を下回る結果となり、平成21年10月2日付で連結業績予想を修正・公表いたしました。本日、最近の業績動向を踏まえ、平成21年10月2日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

該当事項はありません。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、当第3四半期において、重要な営業損失及び営業キャッシュ・フローのマイナスを計上しております。これは、一定の管理部門経費が発生する一方で、研究開発成果である製品販売及びロイヤリティ収入等の収益化が遅延していること等によるものであります。当社は、当該重要事象を解消するため、役員報酬を始めとする管理部門人件費の大幅な削減、収益構造の再検討、研究開発課題の絞込みを行っており、速やかに業績の改善を実現させる所存であります。

また、食品事業を展開する株式会社果実堂のグループ会社化を契機に、当社のDNA・遺伝子解析技術を用いた新たな事業領域への参入を検討しております。

資金につきましては、当第3四半期連結会計期間末時点で、現金及び預金と有価証券の合計額は1,068,306千円であることから、財務的支障はないものと考えております。

以上のことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断し、「継続企業の前提に関する注記」の記載は行っておりません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	368,306	178,361
受取手形及び売掛金	103,821	75,569
有価証券	700,000	1,199,938
商品及び製品	20,230	3,055
仕掛品	25,726	5,752
原材料及び貯蔵品	11,957	6,476
その他	22,343	44,260
貸倒引当金	△539	△175
流動資産合計	1,251,846	1,513,240
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	468,457	459,317
減価償却累計額	△127,350	△120,834
建物及び構築物(純額)	341,107	338,483
その他	363,711	324,436
減価償却累計額	△344,429	△324,436
その他(純額)	19,281	—
有形固定資産合計	360,388	338,483
無形固定資産		
のれん	403,546	187,563
その他	2,800	—
無形固定資産合計	406,346	187,563
投資その他の資産		
その他	89,159	195,412
貸倒引当金	△6,950	—
投資その他の資産合計	82,208	195,412
固定資産合計	848,944	721,458
資産合計	2,100,790	2,234,699

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	20,373	7,648
短期借入金	10,000	—
1年内返済予定の長期借入金	35,856	—
未払金	42,018	42,924
未払法人税等	8,101	10,372
賞与引当金	1,855	—
受注損失引当金	2,031	498
その他	35,946	52,978
流動負債合計	156,182	114,421
固定負債		
長期借入金	104,562	—
長期リース資産減損勘定	—	5,351
その他	13,081	—
固定負債合計	117,643	5,351
負債合計	273,825	119,773
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,855,225	4,855,225
利益剰余金	△3,040,550	△2,758,189
自己株式	△1,782	△1,782
株主資本合計	1,812,892	2,095,253
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	770	—
評価・換算差額等合計	770	—
新株予約権	8,916	17,387
少数株主持分	4,384	2,285
純資産合計	1,826,964	2,114,926
負債純資産合計	2,100,790	2,234,699

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	196,842	395,694
売上原価	112,169	234,163
売上総利益	84,672	161,530
販売費及び一般管理費	615,233	468,206
営業損失(△)	△530,560	△306,676
営業外収益		
受取利息	10,043	4,089
為替差益	2,754	285
保険解約返戻金	—	5,197
その他	620	3,162
営業外収益合計	13,417	12,735
営業外費用		
支払利息	—	1,136
投資事業組合運用損	880	2,230
持分法による投資損失	462	16,762
その他	1	482
営業外費用合計	1,344	20,612
経常損失(△)	△518,486	△314,553
特別利益		
新株予約権戻入益	—	11,164
特別利益合計	—	11,164
特別損失		
固定資産売却損	2,658	746
投資有価証券売却損	2,067	—
投資有価証券評価損	2,155	—
減損損失	—	20,880
特別損失合計	6,881	21,627
税金等調整前四半期純損失(△)	△525,368	△325,016
法人税、住民税及び事業税	3,015	3,829
法人税等合計	3,015	3,829
少数株主損失(△)	△918	△46,485
四半期純損失(△)	△527,465	△282,360

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△525,368	△325,016
減価償却費	17,535	20,992
減損損失	—	20,880
のれん償却額	8,234	13,983
株式報酬費用	10,698	2,693
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3	2,059
受取利息及び受取配当金	△10,043	△4,089
支払利息	—	1,136
為替差損益 (△は益)	263	0
持分法による投資損益 (△は益)	462	16,762
保険解約損益 (△は益)	—	△5,197
固定資産売却損益 (△は益)	2,658	746
投資有価証券売却損益 (△は益)	2,067	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	2,155	—
新株予約権戻入益	—	△11,164
売上債権の増減額 (△は増加)	16,978	△1,654
たな卸資産の増減額 (△は増加)	10,682	△35,995
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,746	5,451
未払金の増減額 (△は減少)	△27,079	△24,560
その他の資産の増減額 (△は増加)	△11,571	22,883
その他の負債の増減額 (△は減少)	△1,146	△6,459
小計	△499,729	△306,546
利息及び配当金の受取額	9,436	5,207
利息の支払額	—	△1,053
法人税等の支払額	△4,805	△5,870
営業活動によるキャッシュ・フロー	△495,098	△308,263
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	600,000	—
有価証券の取得による支出	—	△700,000
有価証券の償還による収入	—	700,000
関係会社株式の取得による支出	—	△153,000
有形固定資産の取得による支出	△700	△1,440
有形固定資産の売却による収入	—	1,020
無形固定資産の取得による支出	△1,255	△2,800
投資有価証券の売却による収入	18,810	—
貸付けによる支出	—	△180
貸付金の回収による収入	897	953
保険積立金の解約による収入	—	14,022
敷金の回収による収入	—	3,033
その他	△1,376	48
投資活動によるキャッシュ・フロー	616,376	△138,342

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	—	△22,898
その他	—	△1,676
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	△24,574
現金及び現金同等物に係る換算差額	△263	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	121,014	△471,179
現金及び現金同等物の期首残高	1,496,591	1,378,300
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	141,185
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,617,605	1,048,306

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	遺伝子破壊 マウス事業 (千円)	抗体事業 (千円)	試薬販売 事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売 上高	82,030	63,061	39,956	11,793	196,842	—	196,842
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	82,030	63,061	39,956	11,793	196,842	—	196,842
営業損失(△)	△58,793	△41,790	△67,807	△6,524	△174,915	△355,645	△530,560

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	遺伝子破壊 マウス事業 (千円)	抗体事業 (千円)	試薬販売 事業 (千円)	食品事業 (千円)	その他 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高								
(1) 外部顧客に対 する売上高	120,382	36,152	68,063	138,340	32,754	395,694	—	395,694
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	120,382	36,152	68,063	138,340	32,754	395,694	—	395,694
営業利益又は 営業損失(△)	18,598	△86,308	4,884	△46,641	12,153	△97,314	△209,362	△306,676

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分については、サービス及び製品の種類を考慮して分類しております。

2. 各事業に属する主要サービス及び製品の内容

事業区分	主要サービス及び製品
遺伝子破壊マウス事業	遺伝子破壊マウス作製及び当該マウスにかかる遺伝子機能情報等の提供
抗体事業	抗体の開発、製造及び販売
試薬販売事業	試薬の仕入、販売
食品事業	ベビーリーフ・ドレッシング等の製造及び販売
その他事業	生殖工学技術研修等

3. 追加情報

第1四半期連結会計期間末日より㈱果実堂及び同社子会社である㈱果実堂ファームを連結の範囲に含めたため、新たな事業区分として「食品事業」を設定しております。なお、みなし取得日を第1四半期連結会計期間末日である平成21年6月30日としているため、第1四半期連結会計期間は貸借対照表のみを連結しております。

4. セグメント別資産の著しい金額の変動

新たに事業区分として設定した「食品事業」セグメントの当第3四半期連結会計期間末の資産は328,399千円であります。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。